

平成 21 年第 3 回定例会 議会報告

(平成 21 年 9 月 3 日～10 月 2 日)



かみくら

秦野市議会議員 神倉ひろあき

●9 月 3 日から始まった、第 3 回定例会は、提案説明を皮切りに議案審議、一般質問、決算特別委員会、常任委員会、議会運営委員会、議会活性化特別委員会と続き最終日は、委員長報告をもって終了しました。

★7 日議案審議で国が補正予算の凍結を固めた今、市の補正予算に対する姿勢は、どうあるべきか質しました。

★8 日の一般質問では、本年 5 月に策定された「秦野市地球温暖化対策地域推進計画(素案)」に述べてある太陽光発電システム、バイオマスの活用、環境教育 の 3 点について取り上げました。以下、報告いたします。

質問 太陽光発電システム ・ ・ ・ 本町中に設置！ 他校は、検討中

・太陽光発電は、温室効果ガス削減の切り札になる可能性が極めて高い。政府は、設置数を現在の 20 倍程度に増やすことを中期目標に掲げている。①市の公共施設や一般住宅における太陽光発電設置補助の見通しは、どのようか。

②学校への太陽光発電の導入は、生きた環境教育でもある。建て替えが決定した本町中学校へ設置してはどうか。

回答 ①公共施設へは、他の省エネ機器等と比較検討し、施設の新設、改築や更新に合せ、担当課と調整しながら導入する。一般住宅は、市民の関心が高く、本年度補助 本予算 20 件、補正で 60 件増やした。来年度以降の補助件数は、要望に応えるよう財政当局と調整する。②本町中へは、20kW 程度の発電能力の導入を予定している。

2 次質問 ・「スクールユテール」構想が進められているが、既設校への太陽光発電システムの導入をどう考えているか。

2 次回答 秦野市地球温暖化対策地域推進計画の中で関係部署と連携を図りながら進めていきたい。

質問 バイオマスタウン構想 (バイオマス：生物資源の量)

・地域のバイオマスの総合的かつ効率的な利活用を図る国のバイオマスタウン構想は、現在 200 以上の市町村が取り組んでいる。本市に多い間伐材や廃棄物を削減し、エネルギーに変える、この構想に参加し、温室効果ガスの削減と循環型社会における、市民の意識の向上を図り、温室効果ガス削減の所期目標を達成すべきと思うがどうか。

回答 全国のバイオマスタウンの先進事例の情報収集・分析など模索すると共に、バイオマス利活用の充実を図る。

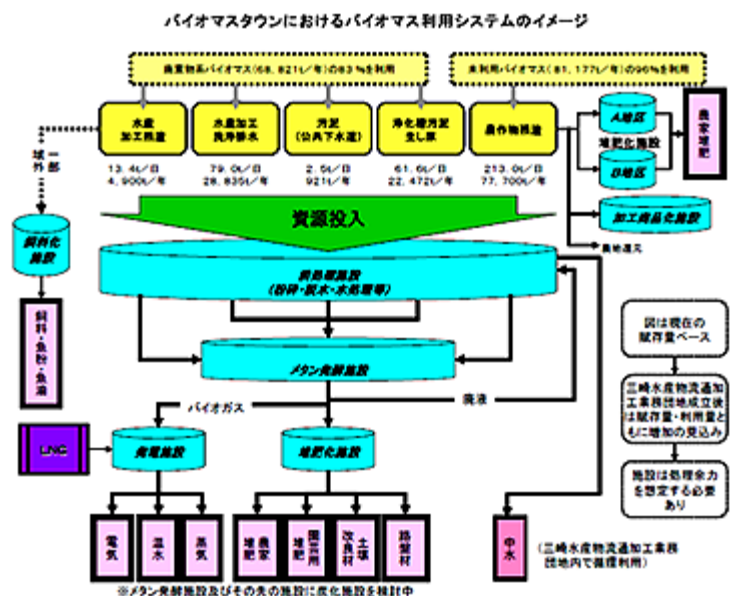
質問 環境教育 ・ ・ ・ 学校教育に CSR 活動の活用を！

①環境教育の今までの取組みと成果はどうか。②企業は、社会的責任と消費者からの要求に対応するという観点から、本業の環境教育を学校で出前授業をする等の CSR 活動を実施している。これを活用し環境の大切さ、技術のすばらしさを理解させ環境意識を高める生きた環境教育を学校に取り入れることは大切と思うがどうか。

回答 ①愛鳥教育を実施。里地里山教育研究の委託。「エココンと学ぼう秦野の環境」「環境教育ハンドブック」の作成。子ども達が、自然と共生し、持続可能な社会の構築に取り組む上で役立っている。②CSR 講座の活用校は、小・中学校 22 校中 3 校である。CSR 活動を学校教育に活かすべく検討し、園・学校を啓発する。



校舎屋上に 20kW の太陽光パネル



★決算特別委員会(平成20年度執行された項目を点検し質す委員会)では多岐にわたり質問しました。

総務費

- ① **入札・契約制度の改革について**：企業の総合評価を一般競争入札に試行したが、成果と課題はどうか。
- ② **保存文書管理費**：保存文書の管理体制は、各課でバラツキがある。一元化による体制整備を要望
- ③ **消費生活行政事業費**：消費生活相談の件数の内訳。テーマ化され端末活用された効果。消費者庁との関係。
- ④ **行政評価推進経費**：「はだの行政改革推進プラン」で評価結果が生かされていない事業の具体例について。
- ⑤ **自転車等放置防止対策費**：撤去した後、取りに来ない自転車が、毎年1000台以上あり、廃棄されている。NPO、NGOを通じて途上国等へ送るのも方法でないか。
- ⑥ **防犯灯設置費補助金**：修繕費と電気料金について、CO2削減、LED電灯の普及を要望。
- ⑦ **市民活動支援事業費**：ボランティア活動している方への保険制度の周知徹底について。

民生費

- ① **障害児サービス事業費**：サービスを受けた人の進路について。伊勢原の児童サービス施設には、秦野からも通っている、このサービスを年齢も含めて拡大していくべきではないのか。
- ② **児医療費補助事業費**：行政評価では、所得制限を設けるべきとあるがどうか。子育て支援や子供を産みやすい環境づくりのため更なる拡大の必要性について。
- ③ **児童手当費**：システムの変更に伴う費用。市の負担分等について。
- ④ **一時保育事業補助金**：待機児童が、かなりの数である、知恵を絞って公共施設の活用や枠の拡大を考える。
- ⑤ **青少年団体育成補助金・交流と連帯活動推進事業費**：ドッジボール大会など参加チームの減少。競技団体や学校との連携。こども会の加入率の減少とその対策について。

衛生費

- ① **歯科休日急患診療所運営費**：行政評価は、C(廃止・休止を検討)である。今度、どう考えるのか。
- ② **成人健康診断費**：子宮がん検診の受診率が低く周知する方法が問題である。市民健康診断の受診率10.4%と低い。健診の通知が届かない人もいること。がん検診登録制について。
- ③ **生ゴミ減量推進事業費**：生ゴミ処理基本計画による減量目標と生ゴミ処理機の活用について。

CSR活動による出前授業(例)

- ・太陽電池について、何で出来ていて、いつから、使われているか。

商工費

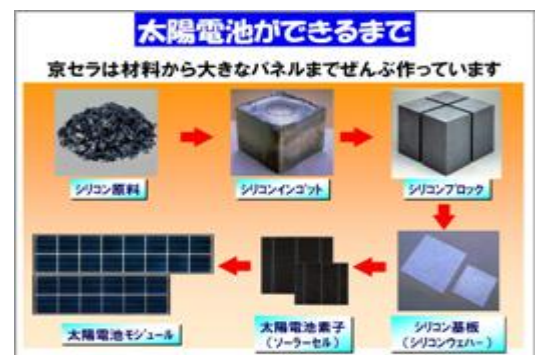
- ① **商店街街路灯等維持管理費補助金**：省エネ電球の活用による電気代の削減。点灯時間のバラツキ是正について。

消防費

- ① **ブロック塀等防災工事補助金**：震災等による倒壊の恐れのあるブロック塀は、9か所ある。通学路に6か所あり危険である！
・現場の把握と今後の対策について。

教育費

- ① **教育委員会運営費**：定例会以外の会の回数。教育委員の安全・安心な教育環境の推進における役割、教育施策策定時のリーダーシップ、全ての学校への訪問と実態把握について。
- ② **国際理解教育推進事業費**：外国語指導助手の雇用形態とその指導の在り方について。
- ③ **小学校安全確保対策事業費**：渋沢小・堀川小に安全確保の詰め所を置いたが、利用数、成果、今後の見通し。
- ④ **運動部活動顧問派遣事業費**：顧問のいない部活や休部対策。部活動の環境整備について。



- 歳入** ・弘法の里湯の使用料。・市町村移譲事務交付金。・成果報告書。・決算審査意見書の未収金・不納欠損額。
・本市が2009年度普通交付税の交付団体への転落した要因について。

下水道

- ・借入額：約14億5千万、償還額：約17億7千5百万と多い、調整区域も含めて今後の公共下水道整備の方向性について。

●一般質問の詳細は、「秦野市議会HPで録画配信しています。」是非ご覧下さい。

●〒259-1322 秦野市渋沢 2-5-13 携帯:090-3533-8034 神倉ひろあき 平成21年9月定例会 議会報告